# 令和５年度
# 文京区立関口台町小学校　学校経営の方針

校長　佐藤　雅彦

## １　学校の教育目標

**○「よく考えてやりぬこう」　　＜行動目標：発言いっぱい　やる気いっぱい＞**
**○「なかよく助け合おう」　　＜行動目標：思いやりいっぱい　挨拶いっぱい＞**
**○「つよい心とからだをつくろう」＜行動目標：汗いっぱい　元気いっぱい＞**

※「汗いっぱい」には、根気強く、粘り強く、困難に打ち勝つといった強い気持ちをもつといった意味も含む。

## ２　目指す学校像と基本方針

「笑顔があふれ　夢を育む　関口台町小学校」

### （１）子供にとって「安心して自己実現ができる学校」

○教師と子供との信頼関係を基盤として、一人一人のよさを認め、自己肯定感を育てるとともに、子供同士の豊かな人間関係を築き、思いやりの心を育てる学校づくりを目指します。

○子供一人一人が安全で安心して学び、**「できた・わかった・もっとやりたい」**という学ぶ喜びを味わい、将来に向かっての夢を育むことのできる学校づくりを目指します。

### （２）保護者や地域にとって「信頼でき、協力したくなる学校」

○子供のよりよい成長を共に願い、迅速・親身・温かい対応を通して、学校と保護者・地域が連携して教育(共育)を行うこができる学校づくりを目指します。

### （３）教職員にとって「チームとして力を生かし、主体的に課題を解決できる学校」

○教職員としての専門性を磨き、学び合い、支え合い、高め合いながら、「チーム」としての対応力を高め、組織的に課題の解決に向けて実践できる学校づくりを目指します。

## ３　具体的な方策（概要）

### （１）確かな学力の育成と学習意欲の向上

○各教科等の年間指導計画に基づき、「週の指導計画」を立案し、毎時間の「めあて」を明確にし、その時間の学習の「振り返り」を大切にした授業実践に取り組みます。

○算数少人数指導を第３学年から第６学年で実施し、個に応じた指導の充実を図ります。

○「関台学習スタンダード」に則った学習指導を行うことで、学習への学び方や学ぶ姿勢など全校で一貫した指導を行います。

○関台サポーターズの協力の下、校外学習や出前授業を積極的に取り入れ、児童の体験活動や本物に触れる機会を多く設定します。

○地域の協力者による本の読み聞かせ（ゆずりは）や朗読劇場、学校図書館の環境整備等のボランティア活動と連携して読書活動を推進します。また、図書館支援員（週４日）による図書室運営の充実を図ります。

○外国語活動を第１・２学年において年間１０時間、第３・４学年において年間３５時間、第５・６学年において年間７０時間実施するとともに、ＡＬＴと協同した授業の充実を図り、「話す」「聞く」「読む」「書く」の４技能の育成に取り組みます。また、第５学年においては、東京都の体験型英語学習施設（TOKYO　GLOBAL　GATEWAY）を活用して、実践的なコミュニケーションの育成を図ります。

○本や資料で調べる、紙に鉛筆で書く…といった従来の基本的な学習も大事にしつつ、全員貸与のタブレット端末を活用する学習も進めていきます。

## （２）豊かな心の育成

○いじめや差別を許さない人権意識を高めるために、人権教育の全体計画に基づき、各教科等や道徳の指導、学級指導を充実する。５月と１２月を「いのちと人権月間」として、全校で人権意識や自己肯定感を高める取組を行います。

○子供の道徳性を育むために、道徳的な問題について考え、議論する「特別の教科　道徳」の授業の工夫・改善に取り組みます。

○第３～６学年において、子供の学級満足度尺度、学校生活意欲尺度を測る学級集団アセスメントアンケート調査（hyper-QU 調査）を実施し、よりよい学級づくりに活用します。

○規律と秩序のある集団を育成するために、「挨拶」「返事」授業中の発言「はい・立つ・です」「ルールを守る」を重点目標とし、「関台生活スタンダード」に基づいて全教職員が共通実践します。

○全学年当番制の「あいさつ応援隊」の活動や代表委員による呼びかけ等により、挨拶があふれる環境をつくり出し、挨拶の日常化への意識を高めます。

○「道徳授業地区公開講座」（１０月）、「いのちと心の授業」等を通して、保護者と地域との連携を図りながら、子供の自尊感情や自己肯定感を高めるとともに、豊かな心や社会の一員としての規範意識の醸成を図ります。

○校内研究では、学級活動の話し合い活動について研究取り組み、子供たちが主体的に取り組める学級づくりについて実践を進めます。

## （３）健やかな体の育成

○体を動かす時間をしっかりと確保できる体育学習を目指します。また、体力向上のための取組を工夫して実施し、運動への意識を高めます。

○身体測定での保健指導、歯磨き指導、給食指導の中での食育の指導などを通して、健康への意識を高めます。

## （４）児童の安全・安心を守る取組

○教職員が組織的に校内の施設・設備の定期的な安全点検を実施します。

○毎月の避難訓練や安全指導に真剣に取り組み、防災や安全への意識を高めます。

○状況に応じた感染症予防対策をとりながら教育活動を進めていきます。また、子供たちが心地よく学習に取り組める環境づくりに努めます。

○セーフティー教室や薬物乱用防止教室等を通して、自他の生命を尊重する態度の育成を図ります。

○第４学年では、学校防災宿泊体験（１泊２日）を実施するとともに、安全マップの制作・発表、防災ノート「東京防災」等の活用を通して、自らの危険予知・危機回避能力の育成を図ります。

## （５）教育相談機能の充実

○心のアンケートを定期的に実施し（学期１回）、いじめの早期発見・早期解決や不登校傾向への対応に向けた相談体制やいじめ防止校内委員会の対応を迅速に進めます。

○相談できる人を増やすために、スクールカウンセラーとの面談を計画的に実施します。

○困ったときはいつでも周りの大人に相談することを子供たちに伝え、子供たちが相談しやすい環境づくりに努めます。

## （６）特別支援教育の充実

○特別支援学級「つばき学級」では、それぞれの状態に適した指導を進めます。また、個に応じた交流及び共同学習に取り組みます。

○特別な支援を要する児童を対象に個別指導計画を作成・活用するとともに、特別支援校内委員会で具体的な支援策を検討して対応を充実させます。

○特別支援教室【学びの教室】や個別学習教室【すこやか】を活用し、保護者と連携を図りながら個に応じた指導を推進します。

## （７）特色ある教育活動（地域を愛する心情を育む体験的な活動・奉仕活動）の充実

○江戸川公園の植栽活動、蛍の生態観察や幼虫の放流等の体験的な活動・奉仕活動などを通して、地域社会の一員としての自覚と意識を高め、地域を愛する心情を育てます。

○縦割り班「関台キッズ」の異学年交流活動を通して、主体的に活動する意欲や態度、社会性などを育てます。

**（８）開かれた学校づくり**

○ＰＴＡ、学校運営連絡協議会、地域学校協働本部、アクティ関台、音羽いくせい会等、地域の諸団体との連携を図り、家庭や地域の教育力を生かした取組を推進します。

★校長の在校時は校長室のドアを開けています。どんなに小さなことでも、お話をしたいことがあれば、いつでも相談にいらしてください。

**今年度もどうぞよろしくお願いいたします**